

第1学年 道徳学習指導案

1 本時案

(1) 主題名 思いやり <2-(2)>

(2) 本時のねらい

心と感情の扱い方について活動を通して考え、よりよい他人への接し方を見いだし実践していこうとする態度を育てる。

(3) 題材名 『タマゴ救出作戦』

(4) 準備 タマゴ(生) ストロー マスキングテープ ビニールシート 画用紙

(5) 学習過程

学習内容・活動	教師の支援等
<p>1 活動内容の説明を聞く。</p> <p>2 タマゴ保護器とコマーシャルの製作をする。</p> <p>○ タマゴを安全に保つために必要なこと(もの)は何だろう？</p> <p>○ ストロー(保護器の材料)はどんな役割をしているだろうか？</p> <p>○ ストローに、どのような役割も持たせて、どんな工夫を加えれば、タマゴを守れるだろうか？</p> <p>3 製作器具の発表(コマーシャル)をして、高さ2メートルの場所からタマゴを落下させる。</p> <p>4 活動についてのふりかえり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分や他人の心(感情や気持ち)を安全に保つために、必要なことは何だろうか？</p> </div> <p>5 感想を書く。</p>	<p>○ 活動内容と共に、これまでの感情の扱い方についての学習を振り返らせる。</p> <p>○ 保護者も参加しやすい雰囲気を作る。 (活動は、生徒チームと保護者チームで行う)</p> <p>○ タマゴ保護器製作の過程で、タマゴやストローの役割をしっかりと考えさせ、発表の中に盛り込めるようにさせたい。</p> <p>○ 心(感情や気持ち)の扱い方や、それを守る方法がいろいろあることに着目させたい。</p> <p>○ 活動の中で考えたこと、思ったことをしっかりと意見交換させたい。</p> <p>○ 自分や他人の心を安全に保つために、自分ができることを考えさせる。</p>

(6) 評価

- ・ 一連の活動の中で心と感情の扱い方について考え、よりよい他人への接し方を見いだし実践していこうとする意識が高まったか。

授業を終えて

生徒の感想から・・・

タマゴ救出作戦から考えたこと

僕は、最初2メートルの高さから卵を落として割らないようにするなんて無理かなと正直な所思っていました。そして、どうすれば割らずにできるか考えていくうち、さっきの不安が希望に少しずつ変わっていきました。僕たちは、「卵キャッチャー」というのを作りました。卵キャッチャーは、卵キャッチャーを下に置いて、上から卵を落とすというものでした。この中に入れることはとても難しいけど、入るということを信じていました。結果は、入らなくて割れてしまいましたが、よくやったと思いました。先生達は火星探査機みたいに、卵をストローの中に入れて上から落としました。これは上手くいって卵は割れませんでした。卵みたいに、人の心は傷つきやすいのかと思うと、大事にしてあげないといけないと思いました。一度傷ついた卵(心)は、それを直すのに、すごく時間がかかると思います。だから、たった一度心を傷つけただけでも傷つけられた人はその心を元に戻すのに時間がすごくかかるので、心を傷つけないようにしたいです(男子)。



僕は、2メートルくらいから落とした卵をストロー25本でひびがつかないようにする活動をして、まず、すごいと思ったことがありました。それは、僕のコントロールが、思ってた以上にすごかったことです。じゃなくて、はじめから、あまりみんなの意見にずれがなかったことです。それは多分、みんなが、一人の言った意見をしっかり聞いて、その意見をさらによくしようとやる感じでいったからだと思いました。それから、僕達が考えた作戦は、みごとに失敗してしまいましたが、失敗の原因は、・・・多分人数が25人では足りなかったのだと思いました。すき間がすごかったので。こういうことから、僕の心が傷ついていないのは、25人以上、たくさんの人達から支えられているからかなあと思ったりしました。いろいろ考えさせられる活動でよかったと思いました(男子)。



と思います(女子)。

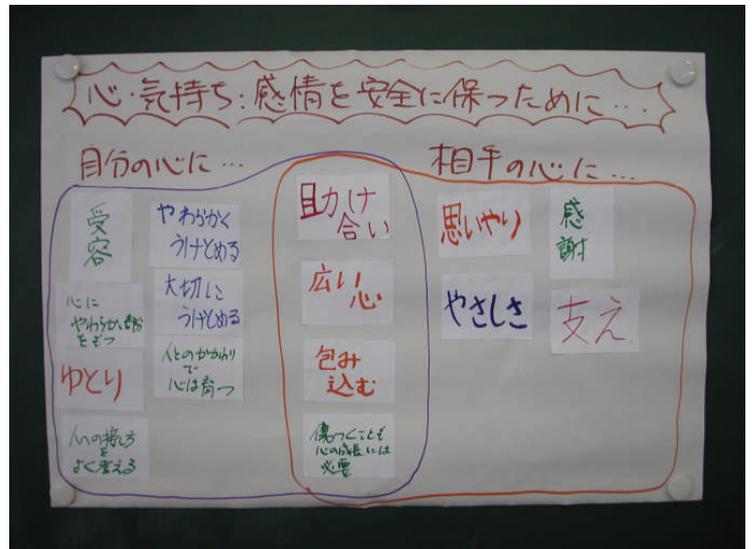
私は道徳の時間で、いろいろなことを感じることができました。まず、話し合いでは意見を出し、協力が大切だなと思いました。そして、自分のことだけしか考えていなかったら、あんな装置はできなかつたと思います。みんなで考えみんなが相手の気持ちを考えてやったので、あの装置ができたんだと思います。その装置は、みんなの支えで、心に傷をつけないようにしようと考えました。みんなで、囲いをつくって守ろうという強い意志がありました。実際は、心に傷がついてしまったけど、こうしてできた傷には、みんなの強い思いがはいっており、悔いはなく、これから成長していく素となりました。ちょっと支え人が少なかったかも知れないけど、少ない人数でもできると見せつけることができ、軽傷？ですみました。私たちも、みんなの支えで、心に傷がつかないといいです。そして、私も困っている人がいたら、心に傷がつかないようにやさしく支えてあげられるような、一人としてやっていきたいです。少しでも、心に傷がつかないように、みんなの強い意志、協力で、心を守っていきたく



この授業と感想を受けて、ふりかえりをもう少し深めてみました。

ふりかえりの視点は・・・

タマゴ(心と感情)を傷つけないために必要なエッセンスを、前の学習からすべて引き出し、究極のたまご保護器のコマーシャルを作ろう！というものです。



それらのエッセンスをまとめてみました。

生徒達は、心と感情を保護するために、必要なものをブレインストーミングで取り出し、自分の心に持ちたい視点と、相手の心にはたらきかけることができる視点に分類し(共通部分もみつかりました 上の図)、大判用紙にまとめました。そして、究極のたまご保護器のコマーシャル作りに取りかかりました。

それが完成図です。一連の学習がイメージとして残るように、コマーシャルということでモニュメント化して、保護者の作ったコマーシャルと共に、教室内に掲示してあります。

おわりに

この実践は、人権教育の一環として1月17日に道德の授業でおこなったものです。保護者にも参加していただいた(生徒数が少ないので)ことにより、生徒では不十分になりがちなふりかえりが、大人の視点からのふりかえりがコマーシャルにたくさん含まれ、さらに深いふりかえりができました。さらに、心と感情を守るエッセンスを具体的に引き出したことで、生徒達の心に大切にしなければならないものがより具体的にはいつていったような気がします。教室掲示は、これから人の心に接していく上で大切なことが、イメージとしてよみがえってくるようにすることがねらいです。今後このイメージが生徒の脳裏にしっかり残り、実践に移すときの下地になることを期待しています。